

●○○ 第199回あすか倶楽部 定例会 ●○○

テーマ：消費者を取り巻く環境の変化とこれからの賢い消費者について

講師：公益財団法人 横浜市消費者協会 理事長

一般社団法人 消費者市民社会をつくる会 代表理事

阿南 久 氏

日時：2018年2月17（土）14：00～17：00

場所：トヨタ自動車池袋ビル 6階604会議室

今回は「消費者をとりまく環境の変化とこれからの賢い消費者について」というタイトルで阿南さんにお話しいただきました。横浜市の消費生活総合センターの理事長であり、同時に「消費者市民社会をつくる会」（通称ASCON：アスコン）の代表理事でもある阿南さんは、2012年8月から2年間、消費者庁長官を務められています。

スタートのお話しはASCONの紹介から始まり、消費者が「消費者力」と「消費者市民力」を、企業が「消費者志向経営力」をつけるように、との設立趣意書を紹介されるとともに、機能性食品についてのASCON科学者委員会の設置により、消費者庁に届け出されたガイドラインに添って適正かどうかを検証評価し、公表していることを紹介されました。

次に消費者問題の概況については、80歳以上の高齢者からの相談がかなりの割合であること、中でも訪問販売や電話勧誘販売の相談が多いことなどでした。横浜市の状況では、高齢者の相談では「山林」「公社債」「老人ホーム」が多く、若者では「タレントモデル養成教室」「結婚式」「エステサービス」と続きます。総括として消費者の消費者力、情報収集力の不足が挙げられ、消費者市民社会の構築が急務であるとしています。

この後は、東京都の見守りネットワーク、新潟市の見守り活動事業、自主グループ（ASnet、ASCOP）の取り組みについて紹介され、さらに消費者志向経営の推進についても触れられました。

このように、消費者行政の姿が従前と変化しており、今後は、消費者、行政、事業者の三者間における対話と協業が大切だということを強調されました。また、エシカル消費、食品ロスなど消費者の果たすべき役割、SDGsは国連の新しい概念として「持続可能な開発目標」は国を挙げて推進していることの説明がありました。

さらに、雪印メグミルクの社外取締役でもあるお立場から、事業者の取り組みとして、2000年6月に発生した「雪印乳業食中毒事件」など、一連の不祥事を挙げ、企業倫理委員会を設置し消費者重視経営を行っていること、品質保証システムを確立していること、「営利ではなく国民の健康と繁栄」（黒澤酉蔵の言葉）などに言及されました。

最後に「子どもを事故から守る」プロジェクトの実践的紹介があり、メインキャラクターの「危ないカモ」の歌と踊りを披露されて、あすか倶楽部の参加者を楽しませていただきました。消費者市民社会の形成に向けて多岐にわたるお話しをいただき、また、質問にも丁寧に答えていただきましたことがとても印象的でした。